

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2 単位	白川 和彦 渋谷 修次	新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院) 新編地理資料 (東京法令出版)
必履修 ○学校必履修 必修選択 自由選択		

## ◆学習の目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 学習の目標に即して基本的な事項・事柄を精選して学習内容を構成する。
- (2) 地理的な見方や考え方及び地図の読図や作図、衛星画像や空中写真、景観写真の読み取りなど地理的技能を身に付けることができるよう系統性に留意して計画的に学習する。
- (3) 地図を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、討論したりするなどの作業的、体験的な学習活動を充実する。

## ◆到達目標と評価の観点

[標準] 学習指導要領に示された、現代世界の地理的認識を深め、地理の基礎的・基本的な知識・技能を習得する。  
 [応用] 現代世界の新たな課題や問題に対して、思考力・判断力・表現力その他能力を活用して、既習範囲の大学入試問題にも対応する学力を身に付ける。  
 [評価の観点] ①興味・関心をもって授業に参加しているか。②地理的な見方や考え方を身に付け、世の中の事象を多面的に考察できるか。③地図や統計データなどの確に読み取り活用できるか。④地理的事象に関して、様々な課題や関連性を理解できたか。以上、4つの観点に基づき、学習内容のまとめりに評価を行う。

## ◆評価の方法

定期考査の結果を中心に、課題テスト(国名・首都名、世界の大地形など)、学力テストや課題レポートなどの提出物、平常の授業の取組み姿勢などを総合的に判断し評価を行う。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	第 1 学期 (26 時間)	第 2 学期 (28 時間)	第 3 学期 (16 時間)
------	-------	----------------	----------------	----------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理を好きになるポイントは、「なぜそうなるのか」という因果関係を理解することである。原因を探り、解決に向けての行動を考えていくことが自分自身の探求に繋がる。</li> <li>・日々の授業が一番大切である。主体的にメモを書き込むなど自分自身のノートを作成する。</li> <li>・社会情勢に関心をもつために、資料を収集・発表したり読書をしたりする時間を大切にする。</li> <li>・4単位科目であるから扱えなかった単元・教材等は、3年生の選択科目で取り扱う。</li> </ul>
---

◆ 授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的スキル 1章 地理情報と地図	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球儀の活用、様々な時代や種類の世界地図の読図、地理情報の地図化などの活動を通して、各時代の人々の世界観をとらえるとともに、地図の有用性や地理的スキルを身に付け、生活圏の地域的特色をとらえる。</li> <li>・世界の地形、気候、植生などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活とのかかわりなどについて考察するとともに、現代世界の環境問題を大観する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書「地図」を十分に活用する。</li> <li>・教科書事例は、地域調査を学ぶ参考とする。</li> <li>・分布や人間生活とのかかわりなどについて考察する。</li> </ul>
	5	2章 地図の活用と地域調査	1		
	6	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境	22		
	7				
2 学期	8	2章 資源と産業	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の資源・エネルギーや農業、工業、流通、消費などに関する諸事象を取り上げ、分布や動向などについて考察するとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を大観する。</li> <li>・世界の人口、都市・村落などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などを考察するとともに、現代世界の人口、居住・都市問題を大観する。</li> <li>・世界の生活文化、民族・宗教に関する諸事象を取り上げ、それらの分布や民族と国家の関係などを考察するとともに、現代の民族問題を大観する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界を系統地理的にとらえる視点や考察方法が身に付くよう工夫して取り扱う。</li> <li>・空間的な規則性、傾向性やその要因などを系統地理的に考察する。</li> <li>・グラフや図表などから読み取ったり、情報を表現したりする。</li> </ul>
	9				
	10	3章 人口、村落・都市	7		
	11	4章 生活文化、民族・宗教	7		
3 学期	1	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界を幾つかに地域区分した上で、世界の諸地域を取り上げ、歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に地域の変容や構造を考察し、それらの地域にみられる地域的特色や地球的課題について理解するとともに、地誌的に考察する方法を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動を充実する観点に立って、地図を有効に活用して事象を説明したり、論述したり意見交換したりする。</li> </ul>
	2	2章 現代世界の諸地域	14		
	3	3章 現代世界と日本	1		